



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社  
コード番号 2475 URL <http://www.wdbhd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,450	16.1	2,090	28.2	2,121	29.9	1,870	125.1
29年3月期第2四半期	15,887	9.1	1,630	22.6	1,633	22.7	831	6.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,933百万円 (136.2%) 29年3月期第2四半期 818百万円 (4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	93.26	
29年3月期第2四半期	41.44	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,213	13,152	68.5
29年3月期	16,509	11,389	69.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 13,152百万円 29年3月期 11,389百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.50		8.50	11.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,560	14.9	3,749	9.9	3,759	10.0	2,822	36.1	140.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	20,060,000 株	29年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,226 株	29年3月期	2,226 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	20,057,774 株	29年3月期2Q	20,057,774 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い企業収益が下支えとなり、緩やかな回復基調が続きましたが、海外の不安定な政治動向や地政学的リスクの影響が懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成29年9月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.52倍と、前月と同水準となり、また、総務省が発表した平成29年9月の完全失業率(季節調整値)についても、2.8%と、前月と同水準となり、全体として改善基調が続いております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、全国に展開しております研修所が順調に稼働しておりますとともに、平成29年7月には新宿支店を開設し、営業を開始いたしました。新卒者の常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社、WDBエウレカ株式会社につきましても、全国的にスタッフを派遣しており、それぞれの分野において順調に業容を拡大しております。雇用情勢の改善によるスタッフの確保は引き続き厳しい状況が予想されますが、当社グループ独自の研修制度や、地域に密着した営業活動の実施により、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」につきましては、WDBアイシーオー株式会社の業績が堅調に推移しておりますほか、平成29年3月と同6月に子会社化しましたOy Medfiles Ltd. (メドファイルズ社)と株式会社コーブリッジが、それぞれの強みを活かした業務を行っており、当第2四半期連結会計期間より当社グループの連結経営成績に貢献しております。この他にもアメリカやインドの各拠点も、連携して営業活動を行っており、当社グループの「CRO事業」における更なる成長と利益率の向上に取り組んでおります。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、18,450百万円(前年同期比16.1%増)となりました。

営業利益につきましては、2,090百万円と前年同期と比べ460百万円(前年同期比28.2%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、2,121百万円と前年同期と比べ488百万円(前年同期比29.9%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,870百万円と前年同期と比べ1,039百万円(前年同期比125.1%増)の増益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記の通りとなっております。

#### ① 人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、16,792百万円と前年同期と比べ1,931百万円(前年同期比13.0%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、2,150百万円と前年同期と比べ443百万円(前年同期比26.0%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

#### ② CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したこと、Oy Medfiles Ltd. (メドファイルズ社)の業績が当第2四半期連結会計期間より貢献したこと等により、売上高は1,148百万円と前年同期と比べ524百万円(前年同期比84.0%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、75百万円と前年同期と比べ36百万円(前年同期比93.0%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

#### ③ その他

当セグメントの売上高は、510百万円と前年同期と比べ108百万円(前年同期比26.9%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は70百万円と前年同期と比べ33百万円(前年同期比87.9%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は19,213百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,703百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払金の増加により6,061百万円となり、前連結会計年度末と比較して941百万円の増加となりました。また、純資産は13,152百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,762百万円の増加となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末と比較して3,495百万円増加し、9,714百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,065百万円を計上しましたが、有形固定資産売却益945百万円の計上および売上債権177百万円の増加ならびに、法人税等の支払額が779百万円となったことにより、1,539百万円の収入(前年同期は1,112百万円の収入)となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の売却による収入1,530百万円により、1,488百万円の収入(前年同期は4百万円の支出)となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金支払による支出171百万円により、176百万円の支出(前年同期は155百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表致しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,731,203	9,807,660
受取手形及び売掛金	4,175,423	4,591,545
商品及び製品	9,066	8,078
仕掛品	34,386	53,607
原材料及び貯蔵品	114,844	71,983
繰延税金資産	248,876	258,961
その他	372,288	231,364
貸倒引当金	△259	△1,576
流動資産合計	11,685,828	15,021,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,635,868	1,625,178
土地	1,441,263	856,340
その他(純額)	173,709	241,754
有形固定資産合計	3,250,841	2,723,274
無形固定資産		
のれん	21,723	485,700
その他	17,927	34,067
無形固定資産合計	39,650	519,768
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,572,085	989,535
貸倒引当金	△38,858	△40,873
投資その他の資産合計	1,533,227	948,662
固定資産合計	4,823,718	4,191,704
資産合計	16,509,547	19,213,330
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,834	1,776,169
未払法人税等	746,523	960,675
賞与引当金	426,467	542,663
その他	1,582,111	2,026,734
流動負債合計	4,533,936	5,306,243
固定負債		
役員退職慰労引当金	368,350	380,117
退職給付に係る負債	81,745	115,316
資産除去債務	93,200	112,235
その他	42,878	147,216
固定負債合計	586,175	754,885
負債合計	5,120,112	6,061,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	10,146,281	11,846,343
自己株式	△553	△553
株主資本合計	11,363,752	13,063,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,896	42,991
為替換算調整勘定	△6,608	33,122
退職給付に係る調整累計額	11,395	12,273
その他の包括利益累計額合計	25,683	88,387
純資産合計	11,389,435	13,152,201
負債純資産合計	16,509,547	19,213,330



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	15,887,260	18,450,814
売上原価	11,934,571	13,805,276
売上総利益	3,952,689	4,645,538
販売費及び一般管理費	2,322,044	2,554,725
営業利益	1,630,645	2,090,812
営業外収益		
受取利息	24	372
受取配当金	466	588
助成金収入	-	10,486
還付加算金	524	353
受取保険金	377	1,375
保険解約返戻金	-	16,192
雑収入	3,603	5,739
営業外収益合計	4,995	35,108
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	2,380	4,594
営業外費用合計	2,380	4,594
経常利益	1,633,259	2,121,326
特別利益		
固定資産売却益	-	945,015
受取保険金	20,000	-
特別利益合計	20,000	945,015
特別損失		
固定資産売却損	600	-
固定資産除却損	-	481
減損損失	129,113	-
特別損失合計	129,713	481
税金等調整前四半期純利益	1,523,545	3,065,861
法人税、住民税及び事業税	665,053	1,221,776
法人税等調整額	27,348	△26,468
法人税等合計	692,402	1,195,308
四半期純利益	831,143	1,870,552
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	831,143	1,870,552

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	831,143	1,870,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	513	22,095
為替換算調整勘定	△19,494	39,730
退職給付に係る調整額	6,447	878
その他の包括利益合計	△12,533	62,704
四半期包括利益	818,609	1,933,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	818,609	1,933,257
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,523,545	3,065,861
減価償却費	91,947	99,342
のれん償却額	10,861	34,822
減損損失	129,113	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,897	2,299
賞与引当金の増減額(△は減少)	78,514	116,195
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,845	11,766
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,000	10,587
受取利息及び受取配当金	△490	△960
支払利息	0	0
保険解約返戻金(△は益)	-	△15,542
有形固定資産売却損益(△は益)	600	△945,015
有形固定資産除却損	-	481
売上債権の増減額(△は増加)	11,969	△177,205
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,074	36,445
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,611	△41,728
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,134	△44,325
未払金の増減額(△は減少)	△112,543	175,172
その他の流動負債の増減額(△は減少)	45,669	29,062
その他	3,885	△39,343
小計	1,756,370	2,317,915
利息及び配当金の受取額	490	960
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△644,206	△779,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112,653	1,539,155
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△38,697
定期預金の払戻による収入	-	33,669
有形固定資産の取得による支出	△46,534	△95,522
有形固定資産の売却による収入	1,052	1,530,000
無形固定資産の取得による支出	△4,637	△7,634
資産除去債務の履行による支出	△1,539	-
敷金の差入による支出	△3,397	△18,032
敷金の回収による収入	740	1,249
保険積立金の払戻による収入	50,128	43,148
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	41,576
その他	△624	△1,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,812	1,488,185
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△5,782	△4,978
配当金の支払額	△150,182	△171,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,964	△176,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,494	49,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	932,381	2,900,503
現金及び現金同等物の期首残高	5,287,207	6,731,203
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	82,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,219,588	9,714,623

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,861,405	623,907	15,485,313	401,947	15,887,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,625	72	14,697	—	14,697
計	14,876,030	623,979	15,500,010	401,947	15,901,957
セグメント利益	1,707,399	39,097	1,746,496	37,680	1,784,177

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,746,496
「その他」の区分の利益	37,680
全社費用(注)	△153,532
四半期連結損益計算書の営業利益	1,630,645

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「人材サービス事業」セグメントにおいて、中央研究所(千葉県松戸市)の建物の解体に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては129,113千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成 29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,792,604	1,148,061	17,940,665	510,149	18,450,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,032	—	13,032	—	13,032
計	16,805,637	1,148,061	17,953,698	510,149	18,463,847
セグメント利益	2,150,620	75,446	2,226,066	70,815	2,296,882

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,226,066
「その他」の区分の利益	70,815
全社費用(注)	△206,069
四半期連結損益計算書の営業利益	2,090,812

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「CRO事業」セグメントにおいて、Oy Medfiles Ltd. 及び株式会社コーブリッジを連結の範囲に含めておりません。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において470,296千円であります。